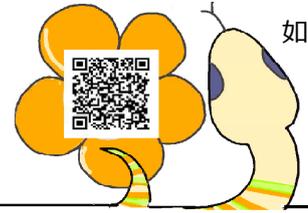


昼ドラの原点なのでは？ 殺害された娘の代わりに引き取られた娘が実は殺人犯の娘だった、ということからの更なる愛憎劇。愛と許しのドラマ。



専門学校も短大も社会人もなんだけど

大学生になったら？

楽しいけどトラップ多く、自律が求められる立ち位置

卒業前に読んでおきたい本紹介

～31日までOK

3年生の最終返却は2月7日
詳細は右下



- 大学生が狙われる50の危険
- お金のはなし
- お金で泣かない 大人になれ
- 本当は恐ろしいお金との付き合い(田崎達磨)
- アメリカの高校生が学んでいるお金の教科書 (アンドリュー.O.スミス)
- 小説 □ 火車(宮部みゆき)
- 三千円の使い方(原田ひ香)



ひとり暮らしの本

- すごい家事
- 一人暮らしサポートブック
- 大人の一人暮らし
- 一人暮らしの超基本
- 一人暮らしを始める本
- 1人暮らし スタートブック
- 家を出る日のために



法律は力になる

- 社会で生きていくために知っておきたい知識
- 15歳からの社会保障人生のピンチに備えて知っておこう
- しょせん他人ごとですから



赤本も小論対策のあれこれも課題(大学宿題)にもご活用を

三年生の利用について

- 進路決定者**
- 1月31日まで貸出OK。
 - 2月7日に返却を。
 - 冊数無制限！
 - 安陵図書館の本を読み尽くせ

- 進路未決定者**
- 進路に必要な人は必要な間利用できます。遠慮なく活用してね!! 冊数無制限。



きいてみました 大学時代の図書館の使い方



山田小百合 先生

大学時代の専門がマイナーな六朝時代の漢詩だったため、まだ誰にも訳されていない詩語の意味を様々な文献を原典まで遡りながら少しずつ確定していき、おそらく作者の詠みたかった境地であらう世界観に近づけたときには感動で胸が踊った♪



高山正教 先生

大学時代の時、「欲しいデータがないんです」と教授に相談したら「データは自分で作るものだ」と叱咤された。大学ってそういう研究するとこだと実感した。でも、そこに至る前にめちゃくちゃ調べた。分からないものに出会ったら、これを知りたいとか、こんなのあったらいいなが出てくる。これってSTにも言えるよね。

後輩へ伝えたい*図書館の愛で方

✍️ 図書館のおすすめの使い方4選

読書 編

たくさん本があるので、タイトルや表紙に一目惚れしたものを、よく手に取ります。自分があまり読まないジャンルに挑戦できるところがポイント！

読んでみたい本のタイトルがわかっている時は検索できます。

森先生に読んでみたいジャンルを伝えると、何冊かおすすめを紹介してくれます。



自分の好みがや先入観で、食わず嫌いしていたジャンルでも、人から紹介してもらうことでハマることがある！ 本との一期一会が楽しい！ 本の貸出し、返却の際に図書委員の方とお話できるのも楽しさの一つです。他学年の友達ができるかも!?



✍️ 卵が先か鶏が先か

本好きは遠くても行くけど。そうでないとなかなか、和親館にある安陵図書館なる所まで行かないよね～。

まずはお気に入りの一冊をみつけないと本好きにはならない。だとしたら、図書館をさまよって、お気に入りを見つけよう♪

✍️ ゆず

✍️ 可能性は無限大

✍️ M

✍️ 推薦入試でフル活用

幅広く知識を得るに、やはり本が一番。読んで考え、考え読んで。頑張った。✍️ さくら

勉強 編



図書館には色々な座席があるので、毎日通っていると自分の定位置ができ、昼休みに図書館で勉強することが習慣になります。5, 6人で友達と座れる席、外を眺められる席、赤本に囲まれて受験モードになれる奥の席、2人で座れる小説あたりの席など、教室よりも静かな環境で集中できます。

調べ物 編



分野ごとに本が分けられているので、調べ物が捗ります 特に奄美大島についての調べ物であれば、1つのコーナーになっているので 使いやすい。

数年分の新聞が書庫に保管されているので、森先生に見せてもらうことができます。

森先生とおしゃべり 編

歴代の卒アルを見せてもらったり、最近の話をしたり、好きな本の話をしたりと、森先生とおしゃべりするために図書館に通ってる、と言っても過言ではない!!



✍️ いぶき

ロコミ

これつかえたよ!

『漢文早覚え 速答法』

巻末にある、創作漢文がめっちゃ面白い。早いうちに試してみてください。



『一度読んだら絶対忘れない 世界史』

他にも、この一度～シリーズは推し! 物理とか多々。

そうよね、という言葉がいたるシーンに散らばる



「言葉なしで相手の気持ちを理解するなんてとても難しいことです」
王子がこちらを向く。昼の日を受けて王冠がキラリと光った。
「でも。だからこそ、目や仕草が表している、その人の思いを見逃してはいけないのかもしれない」
王子は微笑む。
「そうだね。都合よくわかったような気になっていないで、もっと深く、彼女の心を組む努力をするべきだった」